



増床増改築完成

理事長あいさつ

●理事長 阪本 一 樹

10月1日より当院は、11床増床し、47床になりました。

また、ロビー棟を増築し、待合スペースを拡張しました。多少ではありますが、患者様のご要望に沿える病院施設になったと思います。

整形外科医3名、外科医2名、脳神経外科医、泌尿器科医、形成外科医それぞれ1名の常勤医師。理学療法士11名、作業療法士2名、言語聴覚士2名のリハビリスタッフ。外科領域とリハビリテーションに関しては、東讃地区有数の陣容を擁していると思います。

今回の増改築を期に、更に地域の皆様に愛され信頼される病院造りに職員一同で邁進しますので、皆様方の一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。



病院全景



待合ロビー

理 念

わたしたちは、患者様の立場に立った全人医療を行い、地域の皆様に愛され信頼される病院を目指します。



脳卒中基礎知識

— 初期治療の成否が予後に大きく影響します —

阪本病院副院長 小川 智也

脳卒中の語源は、卒然（突然）として邪風の中（あた）り倒れるという所から来ています。脳血管障害と同じ意味だとお考え下さい。1960年代までわが国の死因の第1位を占めていましたが、現在では癌、心疾患について死因の第3位となっています。しかし実際の死亡率は心筋梗塞の2倍、発症率は3－7倍あると言われ、単一臓器の致命的疾患としては最も恐ろしい国民的疾患と言えます。

具体的には①脳血管が閉塞する脳梗塞、②血管が破れる脳出血、③脳動脈瘤が破裂するくも膜下出血があり、各々の割合はおおよそ70%、20%、10%です。しかし死亡率はその逆で、くも膜下出血30%、脳出血20%、脳梗塞10%の順となります。以前は脳出血が脳卒中の大半を占めていたのですが、高血圧のコントロールがよくなったことや、血管の栄養状態が改善したことなどにより次第に減少し、かわって脳梗塞がどんどん増えています。言葉は悪いですが、何らかの後遺症を残し生き残る方が増えているということなので、これも深刻です。

さて治療ですが、激しい頭痛、嘔吐、意識障害などで発症するくも膜下出血や重症脳出血の場合、いかに早く診断をつけ、手術治療を開始するかが鍵となります。そのためには24時間体制での救急医療提供と三次救急医療機関との連携が必要です。当院においては、緊急CT検査はもちろん、10月からは休日、時間外のMRI、MRA検査も可能となり、香川大学救命救急センターとの連携のもと対応しております。かつて脳卒中といえば治療法が無く、起ったら動かさず寝かせておけという認識がありましたが、大きな間違いです。初期治療が遅れると再出血により致命的となってしまいます。脳梗塞に対しても同様のことが言えます。即ち発作を起こして数時間以内ならば、血管再開通のための外科治療を試みたり、高い効果が期待できる薬剤を使用することが出来ます。また近年わが国においては、世界に先駆けて開発された脳保護薬も使用できるようになりました。このように脳卒中治療はここ10年で革命的進歩を遂げ





ており、それゆえに初期治療の重要性が高まったと言えます。しかし更に大切なことは、患者さんとそのご家族が日頃より脳卒中に対する関心と知識を深め、予防に努力し、その上で初期の対処を十分に知っておくことです。脳外科外来でよく経験することですが、手足の脱力、しびれ、言葉のもつれ、ふらつきなどを訴えて受診される患者さんのなかには、症状が出現して2、3日もたって来院される方がめずらしくありません。自宅での安静で何とかなるのではとってしまうのか、痛みもなく重篤な症状と思わない為なのでしょうが、一刻を争う緊迫感がなく、治療に有効な限られた時間を失うことになっています。これは、地域のみなさんに対する私たち医療関係者の啓発活動が十分ではないことも大きな要因であると反省しております。今後機会を見つけ、気軽に勉強し話し合うことが出来る場を持てればと考えておりますので、よろしくお願い致します。

放射線科

放射線検査は診断・治療の有効な手段として、現代医療では欠かすことのできない重要な位置を占めています。しかし一方では人体にさまざまな影響をもたらすという人にとっては不幸な性質を持っています。ご存知のように、人体が多量の放射線を被曝すると、発がん、胎児の奇形など放射線障害を起こす危険性があります。

現在、当院では、放射線管理も確立され安全な運用がなされています。管理された施設で受ける患者様、医療スタッフの被曝につきましては、安全レベル内で十分に被曝線量を低減させる技術があります。また、より少ない線量でより多くの画像情報が得られるよう、技術は日々進歩しています。適切な使用法において行うX線検査では、放射線障害を起こす心配はありません。医学における放射線利用は、人命を最優先に考えて人々の利益になる



当院設置のヘリカルCT装置

ように行われています。安心して当院の放射線検査をお受け下さい。大病院並みの検査を、小病院並みの幅のあるサービスとスピードで提供します。早期発見、早期治療。誰もが気軽に検査できる環境を持って皆様の健康と明るい未来を願っております。

入院中の脇ヨシ子さんへ花嫁さんが訪れました。

孫の赤澤華子さんが、入院の為、挙式に出席出来なかったおばあちゃんに一目花嫁姿をお見せしようと、挙式後すぐに病室にやってきました。新郎新婦お揃いでの訪問に各病室の皆さんも突然の出来事に歓迎と喜びの歓声があがりました。

初々しく輝く美しい花嫁さんから、滞りなく挙式が終わりましたとご報告があり、脇ヨシ子さんは笑顔いっぱい何度でも何度もうなずいておられました。

病院全体が一瞬明るく華やいだ一日でした。新郎、新婦様のご成婚を祝し心よりお慶びを申し、末長く幸多かれんことをお祈り致します。併せてご両家ご親族様、益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

病棟スタッフ一同



職員の古川淑雄さんが表彰授与

今年の5月にリハビリテーション科の古川淑雄さんが、平成16年度優良障害者として東香川雇用対策協議会より会長表彰を受けられました。古川氏は阪本整形外科医院時代より25年間勤務されており、多大な努力が認められました。

本人のコメント:院長先生及び名誉院長先生はじめ周りの皆様の温かい思いやりで、いままで頑張ってきました。これからも患者様に対して優しく接し、与えられた仕事を忠実にこなしていきますので、今後ともよろしく願いいたします。



各科外来診察日一覧

2004年10月1日現在

科目	曜日	月	火	水	木	金	土
整形外科		○	○	○	○	○	○
内科		○	○	○	○	○	○
外科		○	○	○	○	○	○
脳神経外科		○	○	○		○	○
泌尿器科		○	○ (午前)	○		○	
形成外科		○		○ (午後3時迄)		○ (午前)	
リハビリテーション科		○	○	○	○	○	○

※日・祝祭日は休診となっておりますが、急患の場合はこの限りではありません。

発行/阪本病院事務局広報室
医療法人社団聖心会 阪本病院報 〒769-2602 香川県東かがわ市川東103-1 TEL. 0879-25-1121
URL <http://www.idm-hcg.co.jp/sakamoto>